一般会計予算に対する討論

令和８年度一般会計予算は、３月定例会最終日に可決しました。この議決に先立ち、同予算に対する討論が行われ、３人の議員から賛成意見が、３人の議員から反対意見がありました。その概要は次のとおりです。

賛成

●人の結びつきに基づくまちづくりや地域活性化で、市を次世代へつないでいくという市長の思いを受け、意見を述べる。歳入では、安定的な市政運営のため、引き続き財源確保に努めるよう要望する。歳出では、３つの基本方針に基づき意見を述べる。「育てる」では、新たな祭りが市のシンボルとなるよう着実な準備を求める。あやせ子育てスタート応援給付金は、子育て世代の支援に効果的なものと高く評価する。生徒会活動支援補助金による、中学生の行動意欲の向上などに期待する。学校給食費の補助や児童館事業では、子育て支援策のさらなる充実を望む。「稼ぐ」では、外国人高度人材の活用促進支援や市内企業の共同出展支援が、人材確保や販路開拓につながるよう期待する。「支える」では、ＡＩデマンド型交通実証運行が、市民生活の質の維持につながるものと高く評価する。リチウムイオン電池の常時回収拠点の整備が、廃棄の課題解決や、環境負荷低減に寄与するものと期待する。介護人材確保に向けた奨励金事業が活用されるよう周知を求める。病院誘致の事業は、市の持続的な成長や発展への投資であると評価する。市民福祉の向上に重点を置くとともに、持続可能な市であり続けることを願い、本予算に賛成する。

（志政あやせ）

●市長は施政方針で、市を発展させ未来を切り開くため、中長期的な視点に立ち予算編成したと述べた。限られた財源を最大限に活用し、市の発展に今必要な施策を十分検討された予算であると評価し意見を述べる。歳入では、市税や国税収入が、物価高などによる人件費などの増に追いつかない状況であり、財源の確保に引き続き積極的に取り組むよう要望する。歳出では、公債費などの借入が将来世代の過重な負担とならないよう慎重な検討を求める。普通建設事業費では、総合教育支援センターの開所で、子どもたちへの切れ目のない支援を期待するとともに、工業系新市街地の創出に向けた伴走支援の実施を要望する。維持・補修費では、インフラ設備の日常的な点検や改修・更新を計画的に進めるよう求める。物件費では、ローズガーデンを生かした市内消費の拡大や、ＤＸ施策の推進を評価する一方、デジタルに不慣れな方など誰一人取り残さない行政運営を要望する。補助費等では、中学校生徒会活動への補助制度が、子どもたちの経験や大きな財産につながるよう、有意義に活用されることを期待する。いつまでも住み続けたい、住んでみたいと思えるまちづくりの実現に向け、事業の着実な実行を要望し、本予算に賛成する。

（公明党）

●本予算に対し、４点意見を述べる。外国人高度人材の受け入れについて、ハノイ工科大学と提携したインターンを通じ良い人材に来てもらい、日本文化を理解し、日本のファンになってもらうこと、また、帰国後に日本や本市のファンを広げてもらうことを想定した対応を講じるとともに、パラレルソサエティーを作らぬよう交流を継続的に深めることで、タブーなくものを言える関係の構築を要望する。ＲＳウイルスワクチンの助成では、妊婦や胎児への影響、市民のリテラシー向上や企業利益との関連性など、接種の必要性などを市民が考えるための十分な情報提供を求める。中学校部活動の地域展開は、民間企業のビジネスとして活用される可能性が指摘されている。市民にとって本当に良い形となるよう、制度の十分な検討を望む。小学生の初心者水泳教室では、対象者を初心者に限定したことで、夏休みのプール開放と趣旨が全く変わってしまった。お金をかけず、友人と連れ添って遊べる場所を別に用意すべきである。児童館関連経費では、４０００万円の予算強化がされており、夏休み企画などの工夫を期待する。各施策のリスクが顕在化し、大きな問題とならないよう、事業を工夫しながら進めることを期待し、本予算に賛成する。

※（　）は、会派名です。記載のないものは、会派を組んでいない議員の意見です。

令和８年度各会計の予算規模

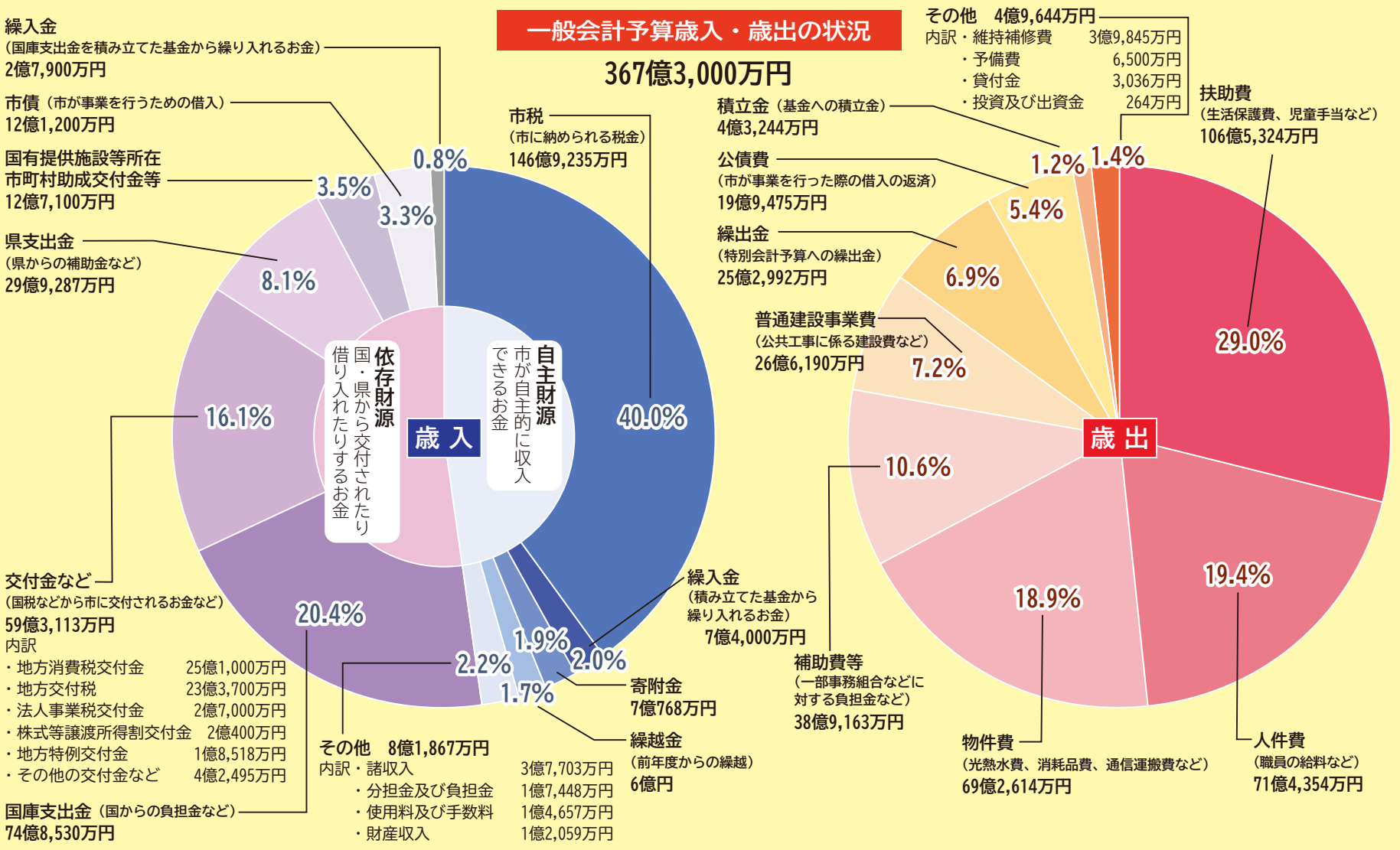
会計名		令和８年度	対前年度比 増減額	対前年度比 増減率
一般会計		367億3,000万円	△8,000万円	△0.2%
特別会計	国民健康保険事業	78億3,500万円	2,900万円	0.4%
	介護保険事業	77億6,700万円	5億4,400万円	7.5%
	後期高齢者医療事業	19億7,100万円	2億5,700万円	15.0%
	小計	175億7,300万円	8億3,000万円	5.0%

公営企業会計（下水道事業）	令和８年度	対前年度比 増減額	対前年度比 増減率
収益的収入	29億4,215万円	△96万円	0.0%
収益的支出	26億2,813万円	△2,775万円	△1.0%
資本的収入	6億8,968万円	2億6,097万円	60.9%
資本的支出	14億8,485万円	2億6,520万円	21.7%

表中の△はマイナスを表しています。

一般会計予算歳入・歳出の状況

367億3,000万円



表中に記載の数値は、表示単位未満を四捨五入しています。